



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月2日

上場会社名 日新製糖株式会社

上場取引所 東

コード番号 2117 URL <http://www.nissin-sugar.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 洋一

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 大場 健司

TEL 03-3668-1293

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	37,901	1.3	1,891	26.8	2,332	17.8	1,663	21.2
29年3月期第3四半期	38,396	1.3	2,584	3.5	2,838	2.7	2,110	14.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,999百万円 (14.0%) 29年3月期第3四半期 2,326百万円 (47.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	75.35	
29年3月期第3四半期	95.58	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	61,701	50,599	82.0
29年3月期	58,273	50,190	86.1

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 50,599百万円 29年3月期 50,190百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		33.00		37.00	70.00
30年3月期		35.00			
30年3月期(予想)				34.00	69.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	1.9	2,200	19.6	2,700	12.2	1,800	29.5	81.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	22,673,883 株	29年3月期	22,673,883 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	594,251 株	29年3月期	593,740 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	22,079,891 株	29年3月期3Q	22,080,737 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たった注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済につきましては、企業業績が堅調に推移する中で雇用・所得環境の改善により個人消費も寄与し、緩やかな回復基調が続いております。

当社におきましては、当第3四半期連結会計期間において、中期経営計画に掲げる事業領域の拡大の一環として、ツキオカフィルム製菓株式会社を連結子会社化しています。なお、みなし取得日を平成29年12月31日としているため、貸借対照表のみを連結しており、当第3四半期連結累計期間の連結業績に被取得企業の業績は含まれていません。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高37,901百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益1,891百万円（同26.8%減）、経常利益2,332百万円（同17.8%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,663百万円（同21.2%減）となりました。セグメントの概況は以下のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較においては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

## 〔砂糖その他食品事業〕

海外原糖市況につきましては、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限）において1ポンド当たり16.93セントで始まり、同日今期高値となる17.18セントまで上昇しました。その後は、最大の生産国ブラジルにおけるサトウキビ圧搾の順調な進捗やインド・タイ・欧州など主要生産国の増産見通しによる世界砂糖需給の供給過剰感から、6月下旬に今期安値となる12.53セントまで下落しました。しかし、原油価格上昇を背景としたブラジルでのエタノール生産比率の高まりによる、砂糖生産比率の低下予測などから値を戻し、15.16セントで当第3四半期を終了しました。

一方、国内精糖市況（日本経済新聞掲載、東京）につきましては、上白糖1kg当たり195～196円で始まりましたが、ニューヨーク市場粗糖先物相場の下落を受け、7月中旬には189～190円と6円下落し、そのまま当第3四半期を終了しました。

このような状況のもと、主力の砂糖につきましては、家庭用製品の出荷量は減少したものの、飲料向けや当社独自製品である「きび砂糖」・「フロストシュガー」が好調であったことで、全体の出荷量は前年並みとなりました。一方利益面では、昨年度の海外原糖相場の乱高下に端を発した家庭用製品を中心とする競争の激化、当上期の製品市況の大幅下落時における高値在庫、ならびにエネルギーコストの上昇および退職給付費用等の経費増が減益要因となりました。一方、その他の甘味料につきましては、5月に上市した家庭用のガラクトオリゴ糖入りシロップ「オリゴの王様」の量販店への導入が進んでいます。

その結果、砂糖その他食品事業合計の売上高は35,154百万円（前年同期比1.4%減）、セグメント利益は1,638百万円（同27.8%減）となりました。

## 〔健康産業事業〕

健康産業事業におきましては、総合フィットネスクラブ「ドゥ・スポーツプラザ」を運営し、女性専用のホットヨガ&コラーゲンスタジオ「BLEDA（ブレダ）」の展開を進めています。4月に「BLEDA（ブレダ）」浦和美園店をオープンし、売上高は1,724百万円（前年同期比4.6%増）となりましたが、新店舗開業費用の発生や既存店における人件費の上昇等により、セグメント利益は69百万円（同19.4%減）となりました。

## 〔倉庫事業〕

倉庫事業におきましては、冷蔵倉庫において、氷の取扱いが引き続き順調であったものの、普通倉庫の稼働率低下により、売上高は1,022百万円（前年同期比6.8%減）、セグメント利益は183百万円（同19.7%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は26,243百万円となり、前連結会計年度末に比べ498百万円増加しました。これは主に現金及び預金が896百万円、商品及び製品が229百万円、仕掛品が116百万円それぞれ減少した一方で、受取手形及び売掛金が1,671百万円増加したことによるものです。固定資産は35,457百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,929百万円増加しました。これは主に有形固定資産が1,137百万円、無形固定資産が1,360百万円、投資有価証券が358百万円それぞれ増加したことによるものです。

上記の内、ツキオカフィルム製菓株式会社を連結子会社化したことにより増加した主なものは、受取手形及び売掛金434百万円、土地746百万円、のれん1,396百万円です。

この結果、資産合計は61,701百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,427百万円増加しました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は7,485百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,040百万円増加しました。これは支払手形及び買掛金が951百万円、短期借入金700百万円、1年内返済予定の長期借入金が78百万円、その他流動負債が651百万円それぞれ増加した一方で、未払法人税等が196百万円、引当金が144百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は3,615百万円となり、前連結会計年度末に比べ978百万円増加しました。これは主に長期借入金が763百万円、その他固定負債が331百万円それぞれ増加した一方で、引当金が103百万円減少したことによるものです。

上記の内、ツキオカフィルム製菓株式会社を連結子会社化したことにより増加した主なものは、短期借入金700百万円、1年内返済予定の長期借入金78百万円、長期借入金763百万円です。

この結果、負債合計は11,101百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,018百万円増加しました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における株主資本は47,278百万円となり、前連結会計年度末に比べ72百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益1,663百万円および剰余金の配当1,589百万円によるものです。また、その他の包括利益累計額は3,321百万円となり、前連結会計年度末に比べ336百万円増加しました。これは主にその他有価証券評価差額金が307百万円増加したことによるものです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は50,599百万円となり、前連結会計年度末に比べ409百万円増加し、自己資本比率は82.0%（前連結会計年度末比4.1ポイント減）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期のおが国経済は、底堅い企業収益のもと、個人消費の持ち直しもあり、全体として引き続き緩やかな回復基調で推移するものと思われま

当社の砂糖その他食品事業を取り巻く環境につきましては、昨年度の海外原糖相場の乱高下と、砂糖消費量の減少から、精製糖業界の競争が一層激化しております。

一方、期首に見込んでおりました、エネルギーコストの上昇、開発・調査費用、ならびに退職給付費用等の経費の増加は、概ね計画通り発生するものと見込んでおります。

また、当第3四半期連結会計期間において、中期経営計画に掲げる事業領域の拡大の一環として、ツキオカフィルム製菓株式会社を連結子会社化しております。平成30年3月期第4四半期連結会計期間より連結業績に算入いたしますが、当期の連結業績予想に与える影響は軽微なもの見込んでおります。

以上の結果、平成29年10月31日の「平成30年3月期 第2四半期決算短信」で公表しました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,351	12,454
受取手形及び売掛金	4,133	5,804
有価証券	1,600	1,600
商品及び製品	3,678	3,448
仕掛品	589	472
原材料及び貯蔵品	1,928	1,949
その他	464	512
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	25,745	26,243
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,860	8,606
その他(純額)	6,136	6,527
有形固定資産合計	13,997	15,134
無形固定資産		
のれん	—	1,396
その他	178	142
無形固定資産合計	178	1,538
投資その他の資産		
投資有価証券	16,582	16,941
退職給付に係る資産	264	297
その他	1,586	1,625
貸倒引当金	△80	△80
投資その他の資産合計	18,353	18,784
固定資産合計	32,528	35,457
資産合計	58,273	61,701

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,191	3,142
短期借入金	1,100	1,800
1年内返済予定の長期借入金	—	78
未払法人税等	372	176
引当金	300	155
その他	1,480	2,132
流動負債合計	5,445	7,485
固定負債		
長期借入金	—	763
引当金	267	163
退職給付に係る負債	132	118
その他	2,238	2,569
固定負債合計	2,637	3,615
負債合計	8,082	11,101
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	12,020	12,020
利益剰余金	28,481	28,555
自己株式	△297	△298
株主資本合計	47,205	47,278
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	784	1,092
繰延ヘッジ損益	△1	0
土地再評価差額金	2,191	2,191
退職給付に係る調整累計額	11	37
その他の包括利益累計額合計	2,985	3,321
純資産合計	50,190	50,599
負債純資産合計	58,273	61,701

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	38,396	37,901
売上原価	30,427	30,457
売上総利益	7,969	7,444
販売費及び一般管理費	5,385	5,552
営業利益	2,584	1,891
営業外収益		
受取利息	6	2
受取配当金	51	240
持分法による投資利益	223	195
その他	11	22
営業外収益合計	292	461
営業外費用		
支払利息	8	9
支払手数料	6	6
為替差損	17	—
その他	5	5
営業外費用合計	38	21
経常利益	2,838	2,332
特別利益		
固定資産売却益	—	2
資産除去債務戻入益	43	—
特別利益合計	43	2
特別損失		
固定資産除却損	90	38
固定資産売却損	—	2
その他	—	6
特別損失合計	90	47
税金等調整前四半期純利益	2,790	2,287
法人税等	680	623
四半期純利益	2,110	1,663
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,110	1,663



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	2,110	1,663
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	191	311
繰延ヘッジ損益	1	1
退職給付に係る調整額	11	26
持分法適用会社に対する持分相当額	10	△3
その他の包括利益合計	215	336
四半期包括利益	2,326	1,999
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,326	1,999
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第3四半期連結会計期間において、子会社化したツキオカフィルム製菓株式会社を連結の範囲に含めています。なお、みなし取得日を平成29年12月31日としているため、貸借対照表のみを連結しており、当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書に被取得企業の業績は含まれていません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。